

～Kyushu Regional Land Sustainability Plan～
九州圏広域地方計画中間整理(概要)



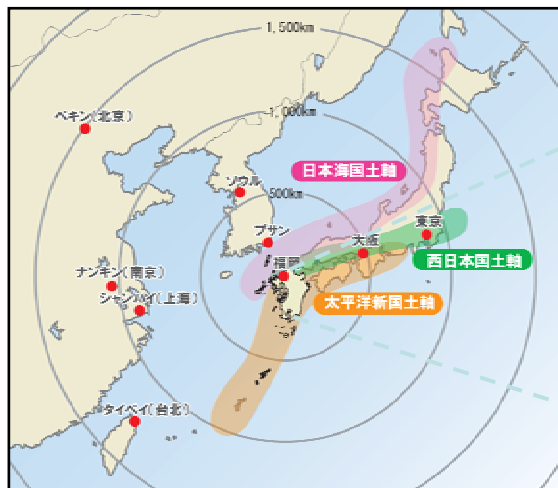
目 次

九州圏の位置づけと圏土構造の特徴	1
2 1 世紀前半の経済社会情勢の転換と九州圏の課題	2
新たな九州像	3
戦略展開の基本的な考え方（三層からなる自立圏の創造）	4
新たな九州像の実現に向けた戦略目標（概要）	5
東アジアへのフロントランナーとして発展する九州圏の形成	6
基幹都市圏を核とした多極型圏土構造と九州圏の一体的な発展	7
災害・環境ハザード最前線における安全・安心で美しい九州圏の形成	8
基幹・拠点都市圏と多自然居住地域の交流による都市自然交流圏の形成	9
生活中心都市を核とした安心でゆとりある基礎生活圏の形成	10
離島・半島、中山間地域等の地理的制約を克服する豊かな定住環境の形成	11
九州圏の各地域の個性を活かした先導的な地域づくり	12
戦略目標に沿った広域連携プロジェクト（概要）	13

九州圏の位置づけと圏土構造の特徴

『東アジア、近接地域等を開かれた九州圏』

- 九州圏は我が国の中で東アジアに近い圏域に位置し、歴史的にも海外からの刺激を受けつつ発展した。
- 3つの国土軸の結節点に位置し、中国圏・四国圏・沖縄等との結びつきも進展している。



- 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の区域
- 欧州の中規模諸国の人口・経済と同規模
- ※人口：約1,340万人、域内総生産：約44兆円



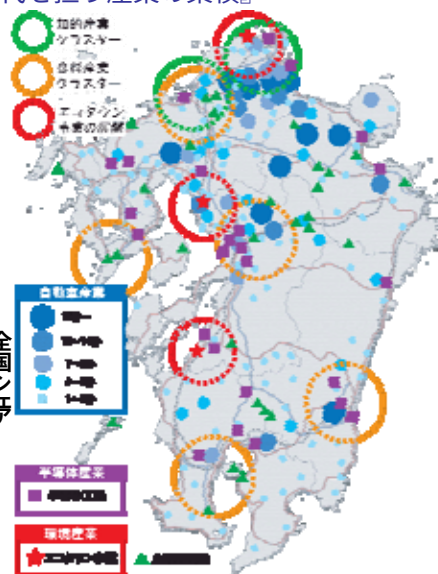
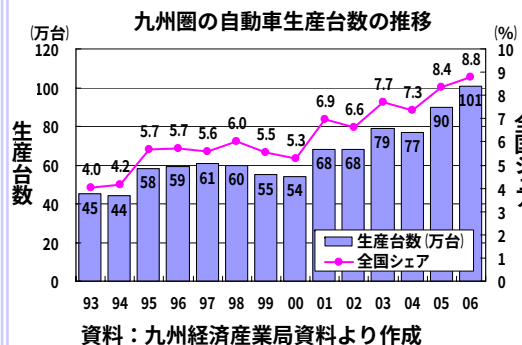
『基幹都市圏が適度に分散し 都市と自然が近接する圏土構造』

- 福岡・北九州では、三大都市圏に次ぐ都市圏が形成され、県庁所在都市等の基幹都市圏が、東西南北に適度な間隔で分散している。
- 離島・半島、中山間地域等が広く分布する。



『九州圏全体を牽引し次世代を担う産業の集積』

- 九州圏は、我が国の食料・木材供給基地、一大観光地として重要な地位を占める。
- 九州圏の持つ優位性から、自動車、半導体産業や環境・エネルギー産業等が集積している。



『離島を抱く外洋に囲まれ、急峻な山地と急流河川、 豊かな森林・水資源に恵まれた自然環境』

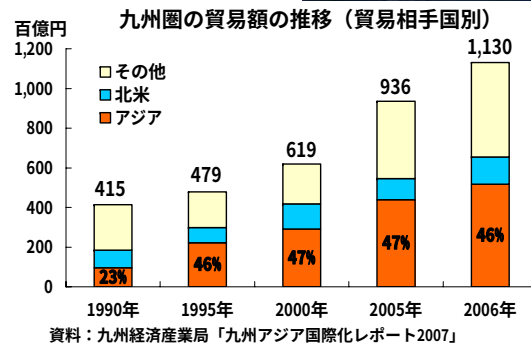
- 九州圏は、阿蘇、球磨川など、複雑急峻な地形や雄大な自然景観とともに、日本でも有数の美しさ、規模の自然や貴重な生態系を有する。
- 温泉、棚田、歴史・文化等の豊かで個性ある地域資源を多く有する。



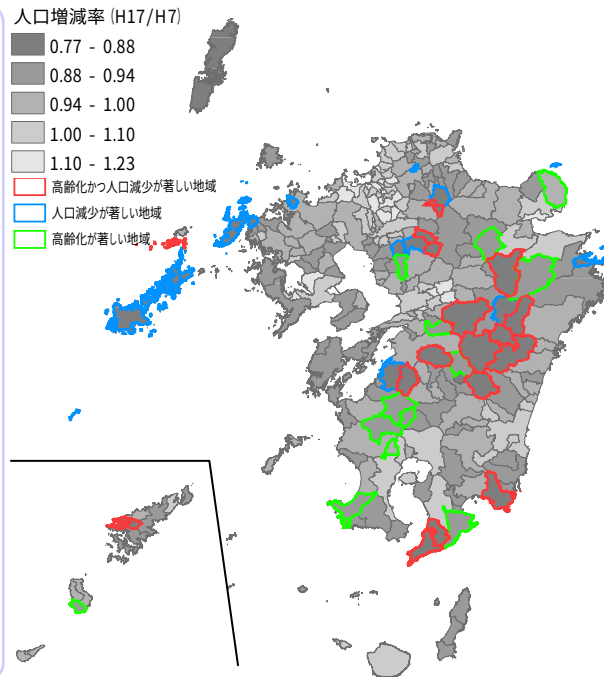
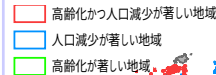
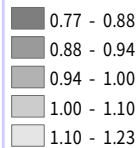
21世紀前半の経済社会情勢の転換と九州圏の課題

『グローバル化の進展と東アジアの経済発展への対応』

- 貿易額は1995年からの10年間で約2倍、アジアの割合は1990年からの15年間で約2倍に上昇した。
- 東アジアの経済発展により、東アジアに開かれた九州圏の発展のポテンシャルは飛躍的に高まっている。

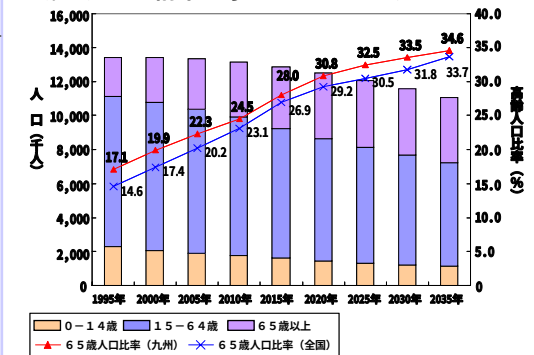


人口増減率 (H17/H7)



『本格的な人口減少・少子高齢化の進行と九州圏の自立的な発展』

- 九州圏の人口は、減少局面に入り、今後、本格的な人口減少・少子高齢化の進行が予測されている。
- このような中で、一定の社会的サービスと就業機会を確保し、豊かな自然の恵みを楽しむことができる新たな地域モデルの構築が求められている。

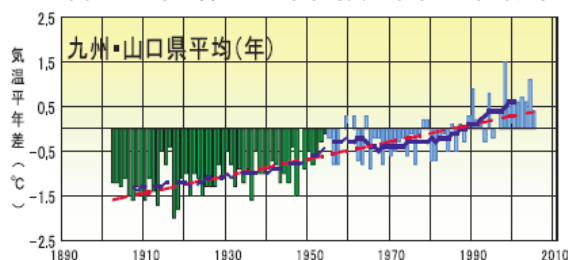


出典) 2005年までは国勢調査
※以降「日本の都道府県別将来推計人口」/ 国立社会保障・人口問題研究所
年齢階級別人口は「平成19年5月推計値」、高齢化率は「平成19年5月推計値」
及び「平成14年3月推計値」を使用
出典) 国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来推計人口」

『安全・安心・環境・景観等への関心の高まりと地球温暖化等への対応』

- 近年、地球温暖化による異常気象や世界規模で資源・エネルギー需要が増大する傾向にある。
- 九州圏では、近年の気候変動等への柔軟な対応とともに、豊かな自然との共生や美しい九州圏の次世代への継承が課題となっている。

九州圏（山口県を含む）の年平均気温平年差の経年変化



※16地点（福岡、熊本、大分、枕崎、飯塚、平戸、日田、阿久根、人吉、都城、佐世保、長崎、種子島、牛深、萩、下関）の平均。緑（1954年以前）は16地点が揃っていない。

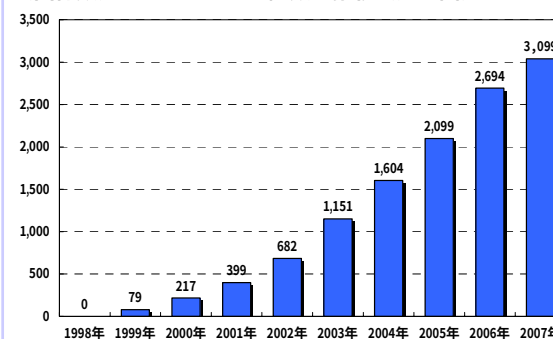
資料：「異常気象レポート九州・山口県版2006」
（福岡管区気象台 長崎海洋気象台）



『価値観、ライフスタイルの多様化と新たな活動主体の成長』

- 価値観、ライフスタイルの多様化が進展するとともに、行政・住民・企業等が連携し活動する新たな活動主体が成長しつつある。
- 選択可能性が高い社会を創造するとともに、地域の活力低下などの課題解決に向けた地域づくりや新たな活動主体の育成が必要となっている。

(団体数) NPO認証数の推移（九州圏）



資料：内閣府HPより作成



新たな九州像

1 東アジアの成長と連動し自立的に発展する九州圏の形成

- ・「東アジアの中の九州圏」との視点に立って、経済、文化等の多面的な交流を積極的に推進し、東アジアとともに新たな発展を目指す
- ・都市と産業の成長のエンジンを強化し、国際競争力を高めることなどにより、東アジアの成長を取り込みながら、中国圏・四国圏・沖縄等との結びつきを強化し、自立的な発展を実現していく

2 豊かな自然と都市的利便性を享受し多様な活躍の場を創出する九州圏の形成

- ・多様な地域が交流・連携することを通じて、どこに住んでいても、一定の社会的サービスや就労の機会、豊かな自然を容易に享受でき、各地域が選択可能性の高い多彩なライフスタイルが可能となる地域社会を創造していく
- ・新しい産業分野の発展を促進することにより、九州圏として安定した経済成長を図り、若年層にも魅力ある活躍の場を創造していく

3 安全・安心で美しく誇りが持てる九州圏の形成

- ・災害等のリスクに対する備えや日々の暮らしの安全・安心を確保し、誰もが生活のゆとりと潤いを実感できる生活環境を形成していく
- ・豊かな自然や美しい景観、良好な社会資本等のストック等を良好な状態で次世代に継承していくとともに、地域の伝統や文化に誇りを持ち、生きがいを感じられるような魅力ある地域を創造していく

九州圏の位置づけと圏土構造の特徴

- 東アジア、近接地域等に開かれた九州圏
- 基幹都市圏が適度に分散し都市と自然が近接する圏土構造
- 九州圏全体を牽引し次世代を担う産業の集積
- 離島を抱く外洋に囲まれ、急峻な山地と急流河川、豊かな森林・水資源に恵まれた自然環境

21世紀前半の経済社会情勢の転換と九州圏の課題

- グローバル化の進展と東アジアの経済発展
- 本格的な人口減少・少子高齢化の進行と九州圏の自立的な発展
- 安全・安心、環境・景観等への関心の高まりと地球温暖化等への対応
- 価値観、ライフスタイルの多様化と新たな活動主体の成長

戦略展開の基本的な考え方

- 1 九州圏の自立に向けた圏土の基礎づくり（三層からなる自立圏の創造 等）
- 2 多様な主体の参加・連携と担い手の確保

新たな九州像の実現に向けた戦略目標

- 1 東アジアへのフロントランナーとして発展する九州圏の形成
- 2 基幹都市圏を核とした多極型圏土構造と九州圏の一体的な発展
- 3 災害・環境ハザード最前線における安全・安心で美しい九州圏の形成
- 4 基幹・拠点都市圏と多自然居住地域の交流による都市自然交流圏の形成
- 5 生活中心都市を核とした安心でゆとりある基礎生活圏の形成
- 6 離島・半島、中山間地域等の地理的制約を克服する豊かな定住環境の形成
- 7 九州圏の各地域の個性を活かした先導的な地域づくり

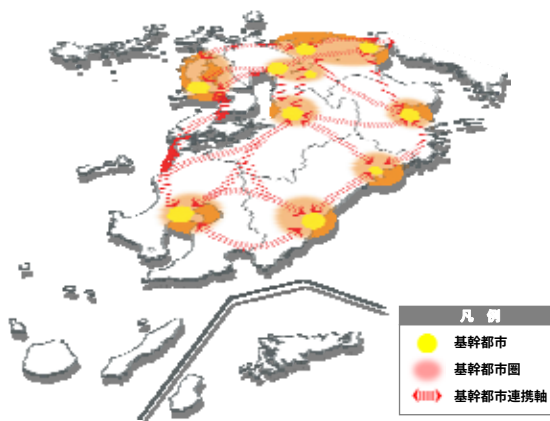
戦略展開の基本的な考え方（三層からなる自立圏の創造）

- 九州圏の一体的な発展を促すとともに、各地域が高次都市機能から生活支援機能までの一定の社会的サービスや就労機会を確保でき、豊かな生活環境を実現するための圏域の単位として、三層からなる自立圏（三層の自立圏）を創造

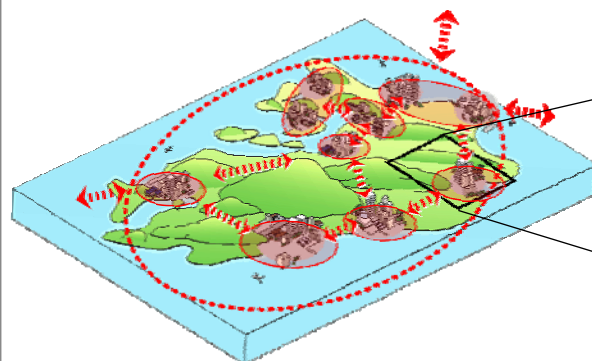
九州自立広域圏

- 九州圏が個性ある国際交流・連携、協力を行うための一定のまとまりある圏域として九州全体で一体的な発展を図るための自立圏域

■基幹都市圏と基幹都市連携軸（イメージ）



■九州自立広域圏の自立の単位（イメージ）

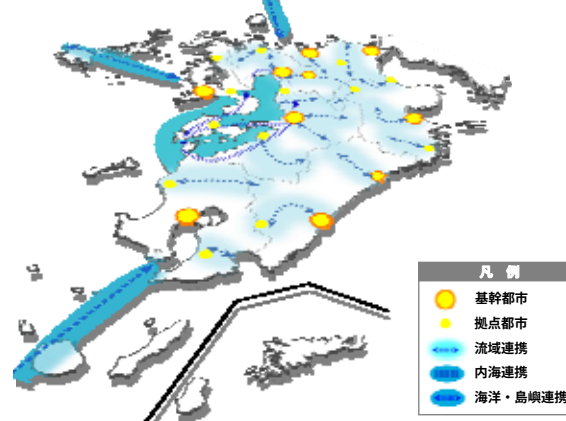


- 九州自立広域圏
- 基幹都市圏
- 基幹都市連携軸

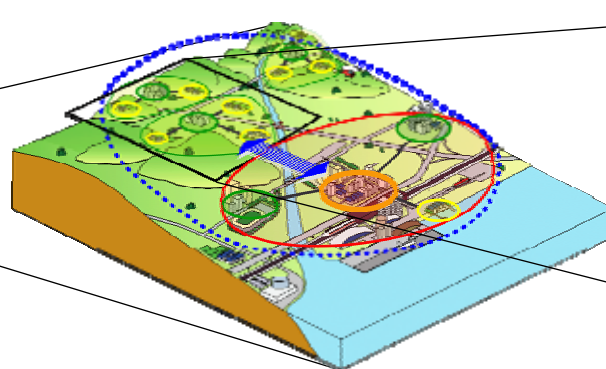
都市自然交流圏

- 適度に分散した基幹・拠点都市圏と多自然居住地域の交流・連携による豊かな生活環境を実現するための自立圏域

■基幹・拠点都市圏と都市自然交流軸（イメージ）



■都市自然交流圏の自立の単位（イメージ）

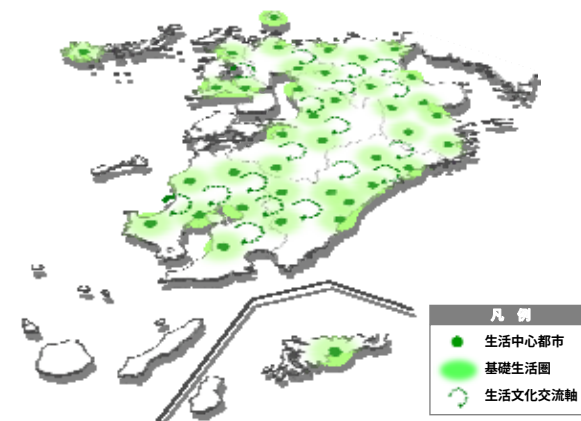


- 都市自然交流圏
- 都市自然交流軸
- 基幹・拠点都市
- 機能補充

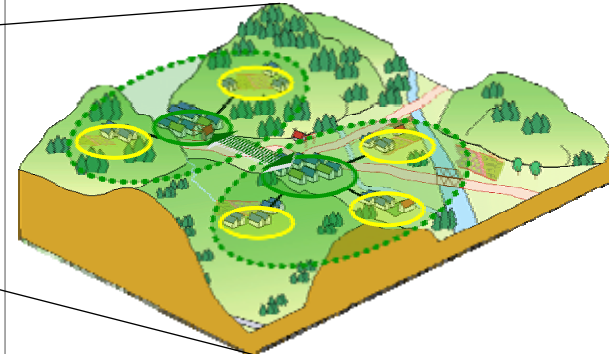
基礎生活圈

- 人口減少下であっても生活関連サービスを維持し、地域社会の機能や活力を確保するための自立圏域

■生活中心都市と生活文化交流軸（イメージ）



■基礎生活圏の自立の単位（イメージ）



- 基礎生活圈
- 生活文化交流軸
- 生活中心都市
- 農山漁村

新たな九州像の実現に向けた戦略目標（概要）

1 東アジアへのフロントランナーとして発展する九州圏の形成

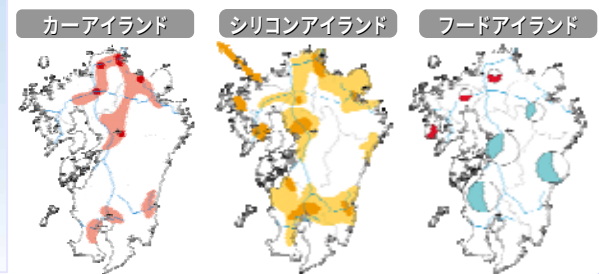
- 東アジアと我が国の結節点として魅力ある国際交流フロンティアの形成
- グローバル化に対応した成長型・牽引型産業群の形成
- 新たな発展を実現する東アジア国際交流軸と広域ブロック連携軸の形成

- ・多様な国際交流・協力／環黄海経済圏の確立／アジア規模の知的拠点の形成 等
- ・現存の成長型・牽引型産業の戦略的な展開／成長期待産業の育成 等
- ・東アジア、広域ブロック等との交流連携軸の形成／ゲートウェイ機能の強化 等

東アジア・広域ブロック連携軸（イメージ）



成長型・牽引型産業の集積（イメージ）

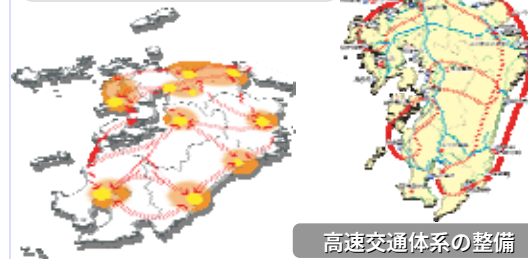


2 基幹都市圏を核とした多極型圏土構造と九州圏の一体的な発展

- 多極型圏土構造の極となる個性的で魅力ある基幹都市圏の形成
- 文化・知識集約化による創造的都市の形成と多彩な人材の育成
- 九州圏の一体的な発展を実現する基幹都市連携軸の形成

- ・個性的で魅力ある基幹都市圏の形成 等
- ・創造的都市の形成／多彩な人材の育成 等
- ・高速交通体系の整備／情報通信基盤の整備等

九州自立広域圏（イメージ）



高速交通体系の整備

3 災害・環境ハザード最前線における安全・安心で美しい九州圏の形成

- 九州圏の総合力発揮による安全で安心な暮らしの実現
- 我が国を先導する美しい環境・エネルギー先進圏の形成

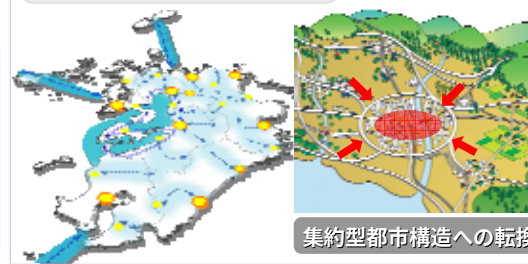
- ・災害に強い地域づくり／広域的な連携体制の形成 等
- ・自然環境・景観の保全／循環型社会の構築／地球温暖化対策 等

4 基幹・拠点都市圏と多自然居住地域の交流による都市自然交流圏の形成

- 広域的な都市的利便性を実現する基幹・拠点都市圏の形成
- 水・緑・食・安全等の互惠関係を実現する都市自然交流軸の形成

- ・高次都市機能の充実・強化／集約型都市構造への転換 等
- ・都市と多自然居住地域の交流・連携を支援する交通基盤の整備 等

都市自然交流圏（イメージ）



集約型都市構造への転換

6 離島・半島、中山間地域等の地理的制約を克服する豊かな定住環境の形成

- 地理的制約を克服する生活イノベーションの展開
- 離島地域における海洋性気候等に恵まれた豊かな定住環境の形成

- ・交通アクセスの改善／就業機会の確保／社会的サービスの維持 等
- ・都市部への定期的な交通アクセスの確保／情報通信技術の活用 等

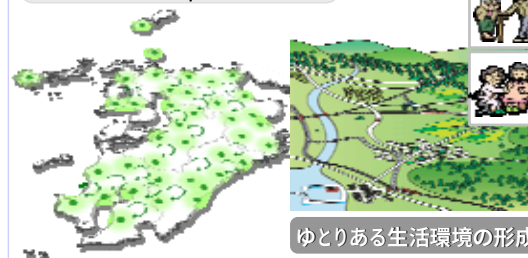


5 生活中心都市を核とした安心でゆとりある基礎生活圏の形成

- 生活支援機能の維持・向上を実現する基礎生活圏の形成
- 誰もが安心とゆとりを実感できる子育て・生活環境の形成
- 生活活動に密着した地域産業の新たな展開
- 生活・文化・活動等の一体化を促進する生活文化交流軸の形成

- ・生活支援機能の維持・向上 等
- ・高齢者等の地域社会への参画／子育て支援等
- ・地域産業の再生／農林水産業の新たな展開等
- ・隣接地域間の機能分担／交通基盤の整備 等

基礎生活圏（イメージ）



ゆとりある生活環境の形成

7 九州圏の各地域の個性を活かした先導的な地域づくり

- 恵まれた地域資源を活用した先導的で創造性あふれる地域づくり
- 多様な活動主体を基軸とした地域づくりと地域の担い手育成

- ・個性と魅力あふれる地域づくり／新しい地域文化の創造 等
- ・多様な主体、新たな公を基軸とした地域づくり 等

1 東アジアへのフロントランナーとして発展する九州圏の形成

① 東アジアと我が国の結節点として魅力ある国際交流フロンティアの形成

■地理的近接性等を背景として、東アジアとの緊密な交流・連携や東アジア規模の生産ネットワークの構築が進展している。



■経済、技術・学術・文化等の多岐にわたる関係の深化を図り、東アジアと我が国を結ぶ個性的で魅力ある国際交流フロンティアを形成していく。

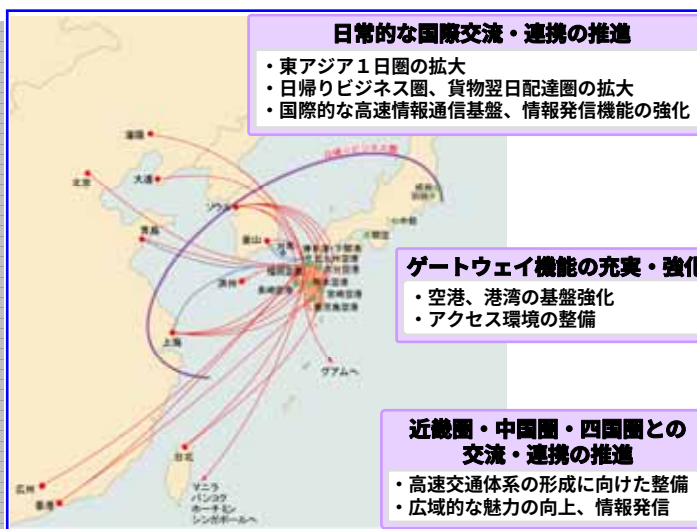


③ 新たな発展を実現する東アジア国際交流軸と広域ブロック連携軸の形成

■東アジアの主要都市、他の広域ブロックを有機的に連結する交流軸を形成する。

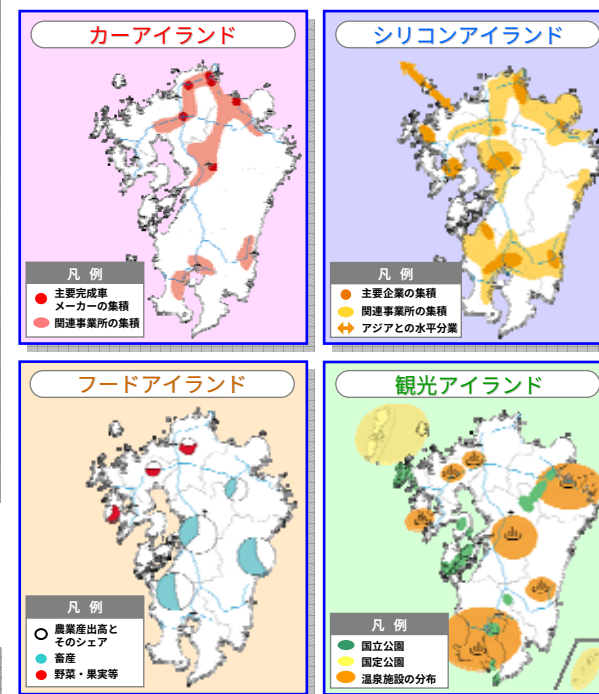


■東アジア規模の交流・連携を支援し、九州圏が自立的に発展していくため、東アジアへのゲートウェイ機能を強化する。



② グローバル化に対応した成長型・牽引型産業群の形成

■現存する成長型・牽引型産業について、九州圏全体の発展を牽引する産業アイランドとして戦略的な展開を図る。



■今後成長が期待される産業分野を育成し、次世代の産業群の形成を促進する。



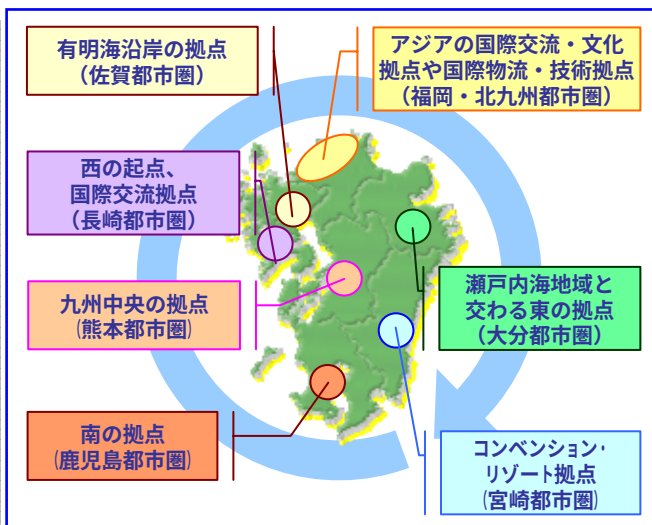
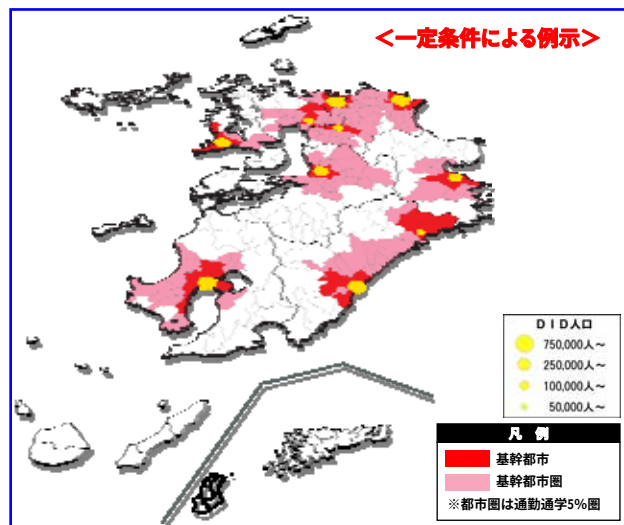
九州圏の持続的な成長の実現

2 基幹都市圏を核とした多極型圏土構造と九州圏の一体的な発展

① 多極型圏土構造の極となる個性的で魅力ある基幹都市圏の形成

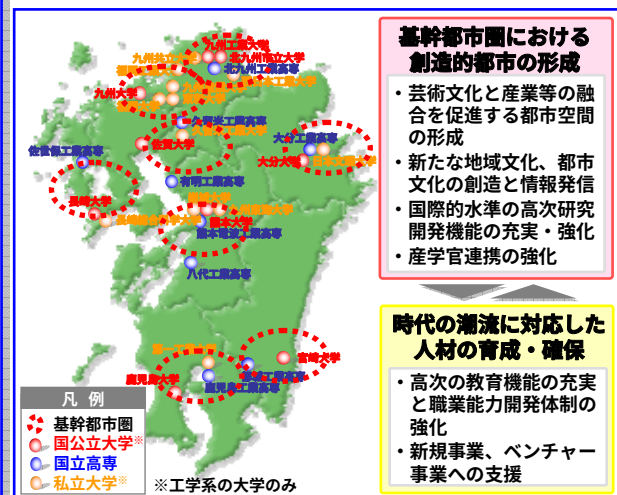
■高次都市機能が集積する基幹都市圏の適度な分散を活かし、多極型圏土構造を形成する。

■相互の機能分担と連携を進めながら、各々の都市圏の規模や特性に応じた特色ある拠点を形成する。



② 文化・知識集約化による創造的都市の形成と多彩な人材の育成

■芸術文化、知識集約等の融合による創造的都市の形成を図り、九州圏に必要な多彩な人材を育成する。

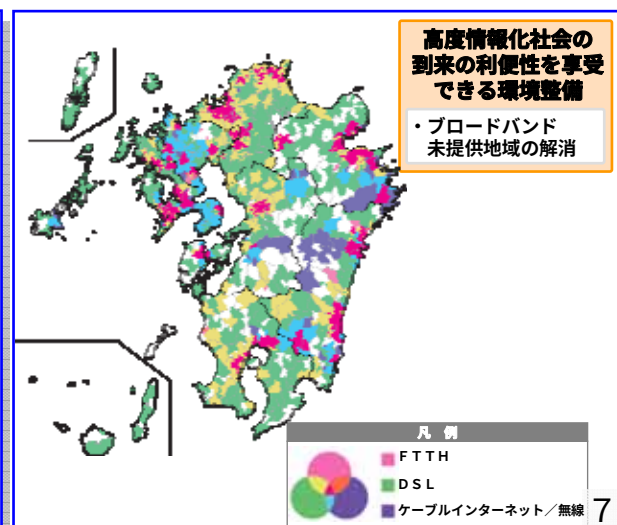
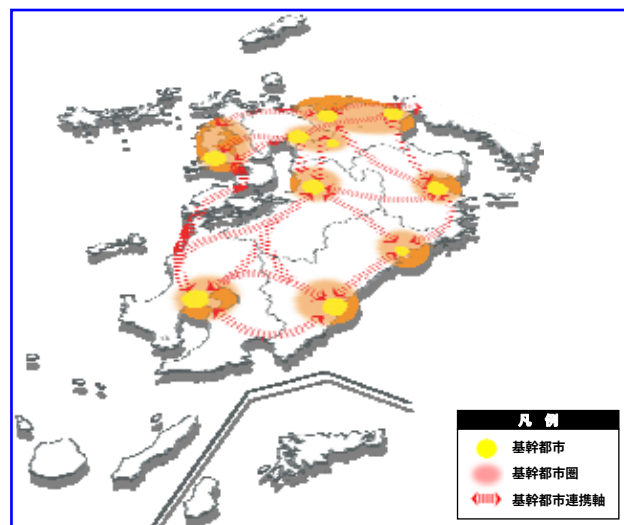


③ 九州圏の一体的な発展を実現する基幹都市連携軸の形成

■基幹都市圏の高次都市機能を広範囲で享受でき、新たな発展を促す基幹都市連携軸を形成する。

■九州圏の域内循環を活性化させる高速交通体系の形成に向けた整備を進める。

■都市圏間の交流・連携を支援し、九州圏の一体的発展を促すための情報通信基盤の整備を進める。



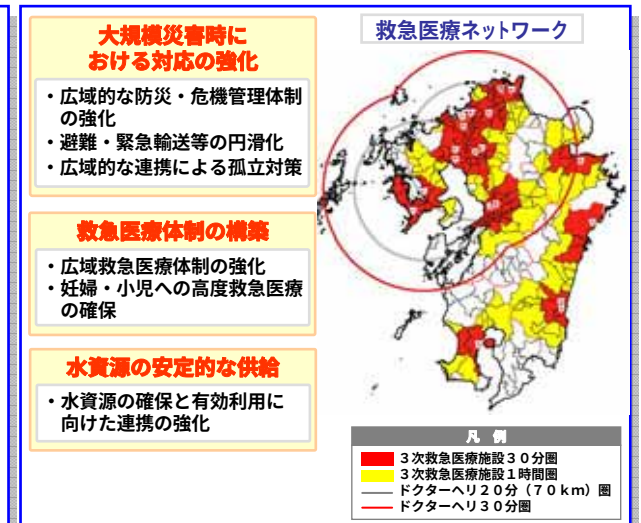
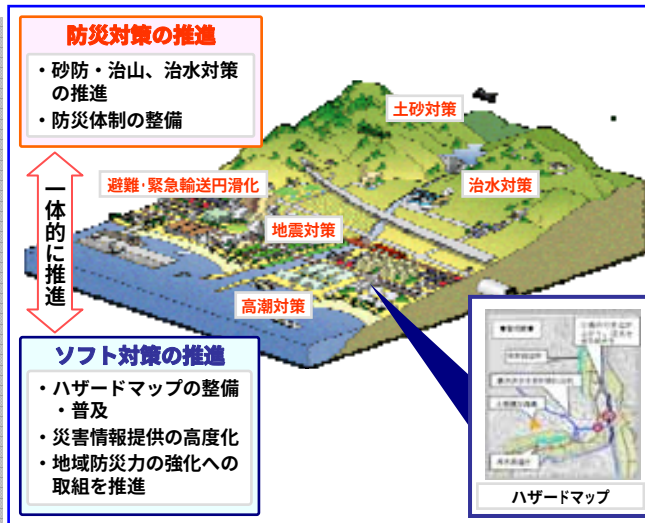
3 災害・環境ハザード最前線における安全・安心で美しい九州圏の形成

1 九州圏の総合力発揮による安全で安心な暮らしの実現

■台風常襲地帯、脆弱な土壌であるとともに、異常気象等による災害への影響を受ける我が国の最前線に位置する。

■減災の視点も取り入れ、ハード・ソフト対策が一体となった災害に強い地域づくりを進める。

■安全・安心な暮らしを実現するため、広域的な連携体制を形成していく。

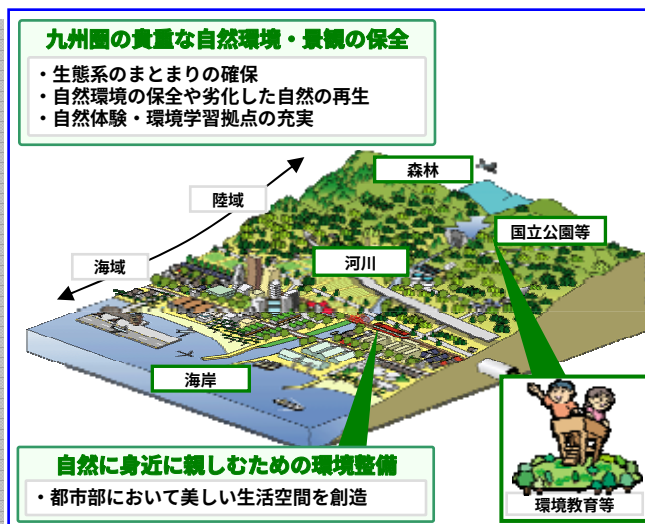


2 我が国を先導する美しい環境・エネルギー先進圏の形成

■豊かな自然が多い一方、東アジアとの環境問題や地球温暖化の影響を受ける我が国の最前線に位置する。

■九州圏に数多く存在する多様で美しい自然環境を、保全・再生し、健全な状態で次世代に継承していく。

■我が国の循環型社会の構築を先導しつつ、地球温暖化の防止対策等を積極的に進め、世界に貢献していく。



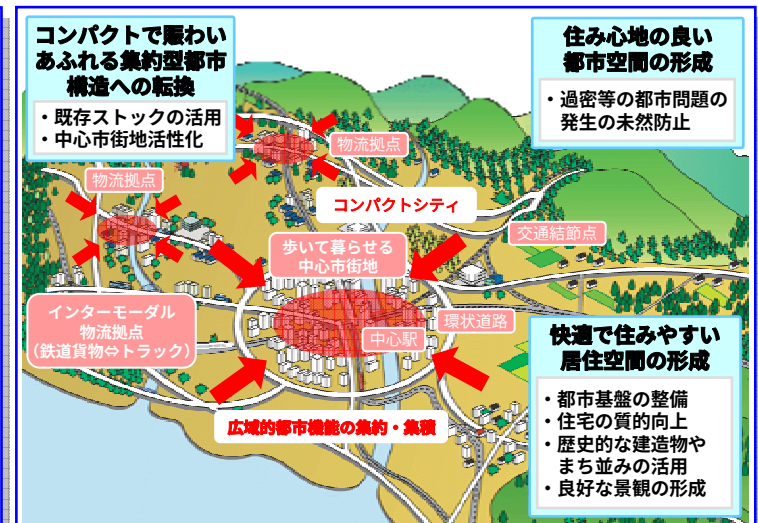
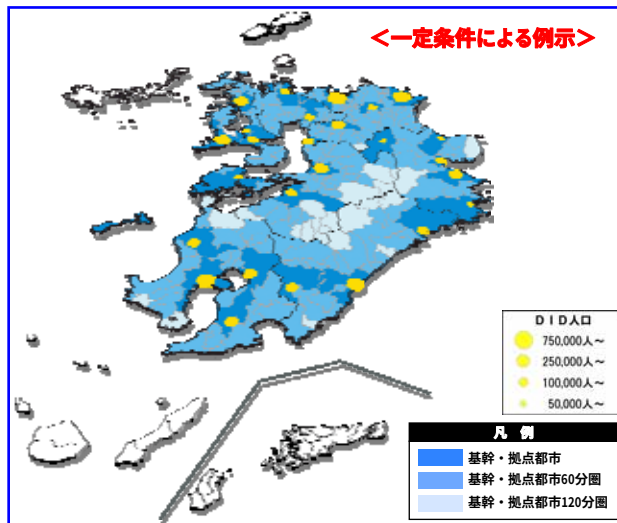
4 基幹・拠点都市圏と多自然居住地域の交流による都市自然交流圏の形成

① 広域的な都市的利便性を実現する基幹・拠点都市圏の形成

■基幹・拠点都市圏と多自然居住地域が交流・連携し、一体となる都市自然交流圏を形成していく。

■都市機能の充実・強化を図り、広域的な都市的利便性を実現する都市圏の形成を図る。

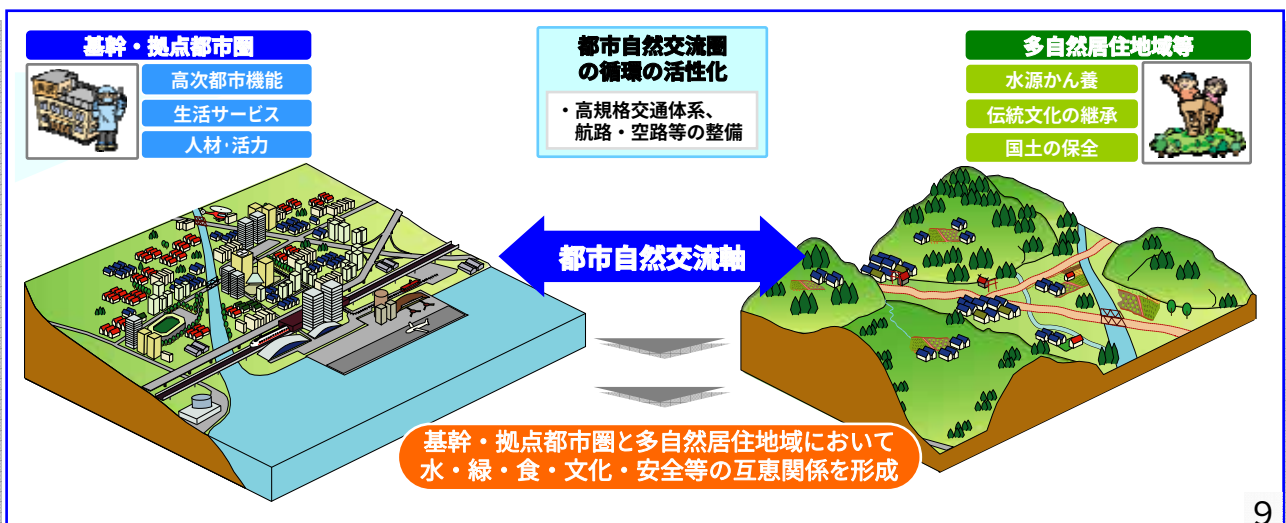
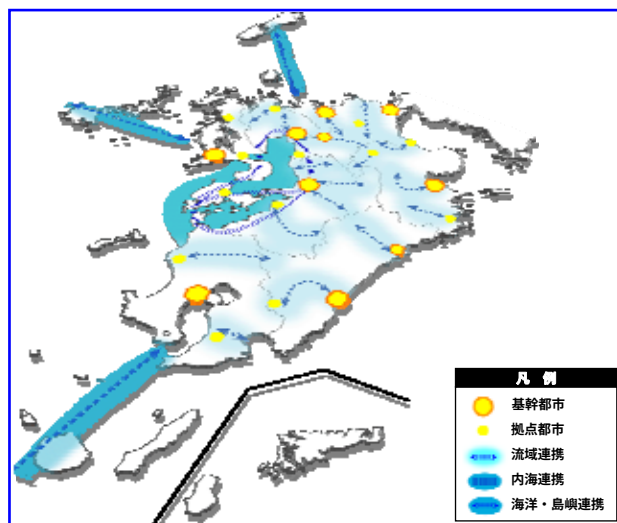
■コンパクトで賑わいあふれる集約型都市構造への転換や良好な景観の形成等による快適で住みやすい居住空間の形成を進める。



② 水・緑・食・安全等の互惠関係を実現する都市自然交流軸の形成

■基幹・拠点都市圏と多自然居住地域を広域的に連結する都市自然交流軸の形成を促進する。

■水・緑・食・文化・安全等の互惠関係を形成するため、流域、沿岸海域、海洋・島嶼等を通じ広域的に連結する。
■都市自然交流圏の循環を活性化させる高規格の交通体系や航路・空路等の形成に向けた整備を進めていく。

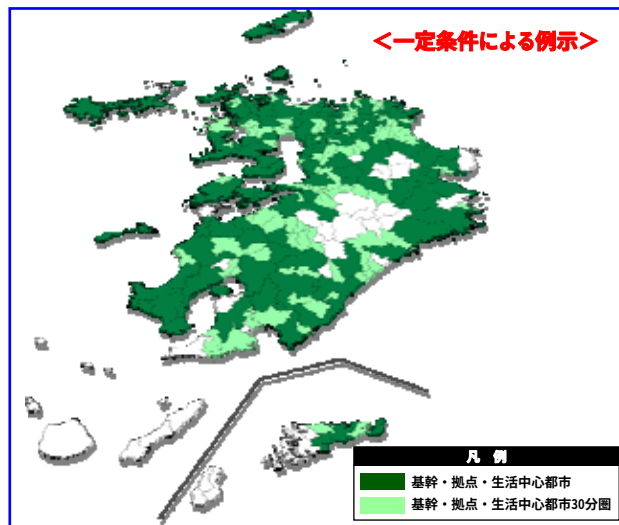


5 生活中心都市を核とした安心でゆとりある基礎生活圏の形成

① 生活支援機能の維持・向上を実現する基礎生活圏の形成

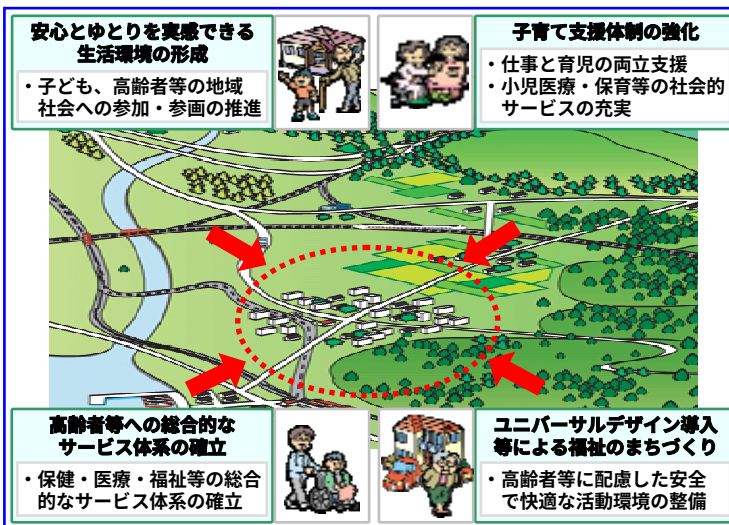
■基礎生活圏における生活支援機能の維持・向上を図るとともに、持続可能で暮らしやすい生活圏を形成する。

■基礎的な一定レベルの生活支援機能について、多自然居住地域内でも享受できるようにする。



② 誰もが安心とゆとりを実感できる子育て・生活環境の形成

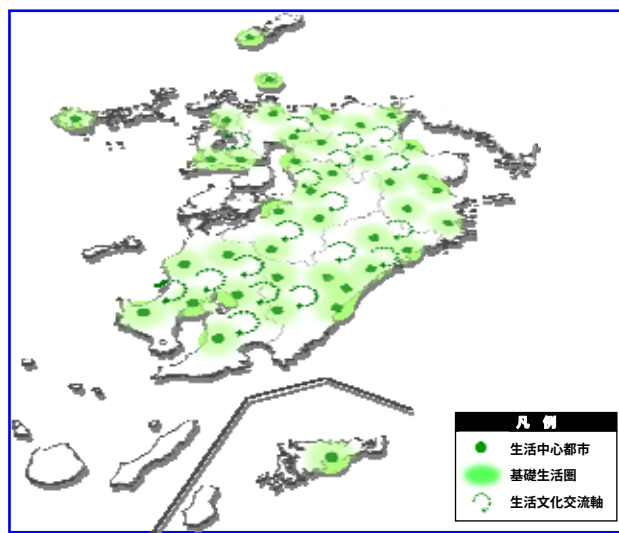
■少子高齢化等に対応するため、子どもから高齢者まで全ての世代が安心とゆとりを実感できる生活環境の形成を図る。



④ 生活・文化・活動等の一体化を促進する生活文化交流軸の形成

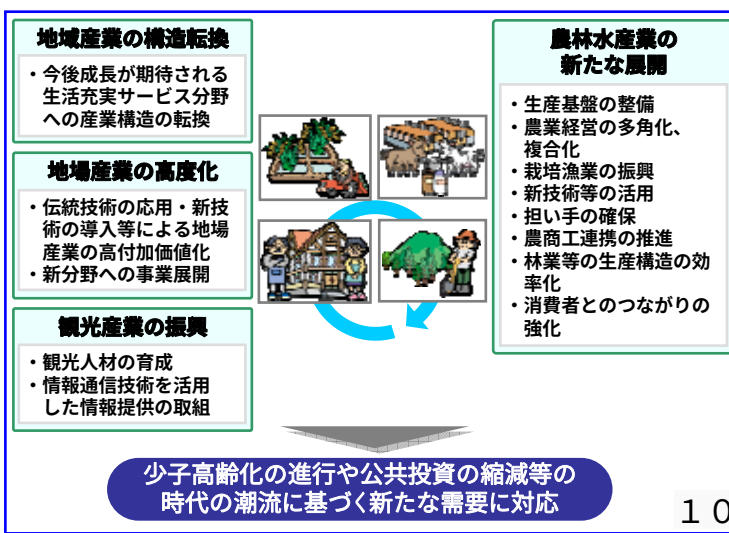
■生活支援機能の分布状況や隣接地域の連携強化により、生活文化交流軸を形成していく。

■隣接地域間の機能分担や魅力ある交流・連携地域を創造するための基盤整備を図っていく。



③ 生活活動に密着した地域産業の新たな展開

■農林水産業や観光産業など生活活動に密着した地域産業について新たな展開を図る。



6 離島・半島、中山間地域等の地理的制約を克服する豊かな定住環境の形成

① 地理的制約を克服する生活イノベーションの展開

■九州山地等に広く分布する中山間地域等では、豊かな農林業、観光産業等が営まれる一方、人口減少・高齢化、農林業等の担い手不足、社会的サービスの低下等に直面している。

■離島・半島、中山間地域等の地理的制約の厳しい地域における都市機能と生活支援機能、就業機会等の一定の基礎条件の確保を図る。



② 離島地域における海洋性気候等に恵まれた豊かな定住環境の形成

■離島地域では、領海の確保や島特有の自然、貴重な歴史・文化、農林水産物の生産など、重要な役割を果たす一方で、若年層が流出するなど、地域の活力低下が顕在化している。

■離島地域については、海洋性気候等に恵まれた自然環境等を活かした産業振興、島内で一定の社会的サービスの維持を可能とする豊かな定住環境を形成していく。



7 九州圏の各地域の個性を活かした先導的な地域づくり

① 恵まれた地域資源を活用した先導的で創造性あふれる地域づくり

- 豊富な地域資源等を活用した地域づくりにおける先導的な事例を多数有する。
- 人口減少等が進行する中で、地域活力の維持向上に結びついている事例もある。

自然資源の保全・活用

- ・世界一の阿蘇カルデラを活用した地域づくり



①熊本県阿蘇市

- ・歩いて楽しい生活型観光地づくり



②大分県由布市

交流・観光による活性化

- ・水辺空間を活かした水郷のまちづくり

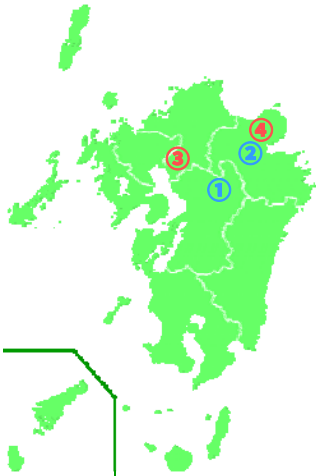


③福岡県柳川市

- ・昭和のまち並みを活用したまちづくり



④大分県豊後高田市



- 恵まれた地域資源を最大限に活用した地域づくりにより、自然、文化・歴史等が融合する個性豊かな地域創造アイランドの形成を促進する。

**豊かな自然環境
美しい景観**



つづら棚田
(福岡県浮羽市)

**個性と魅力ある
歴史・文化**



高千穂神社
(宮崎県高千穂町)

**地域づくりに関する
先導的な取組が進展**



熊本国際建築展(熊本県)

**個性と魅力あふれる
地域づくり**

- ・自然体験・交流の場としての自然環境の活用 等

**歴史的風土を活用した
地域づくり**

- ・古代遺跡、文化・近代化遺産、伝統芸能等の活用 等

**新しい地域文化の創造
と情報発信**

- ・音楽・彫刻等の芸術文化の多様な創造活動の推進 等

地域アイデンティティの醸成

個性と魅力ある地域の創造

交流人口の増大
所得機会の確保

② 多様な活動主体を基軸とした地域づくりと地域の担い手育成

- 多様な主体による創意と工夫に基づく取組が重要な役割を果たすと期待されている。
- 住民が主体となった地域づくりの先駆的な取組が行われている。

多様な主体の地域づくり

- ・体験観光の人的ネットワークの形成



①長崎県松浦市

- ・住民主体の観光地づくり(長崎さるく)



②長崎県長崎市

志ある主体の取組

- ・日本風景街道の形成に向けた取組

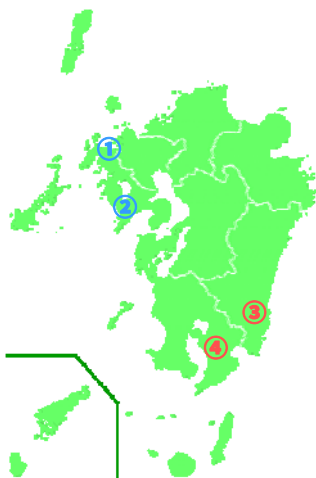


③宮崎県日南海岸

- ・住民参加による自主財源創出の地域づくり



④鹿児島県鹿屋市



- 多様な主体の参加を基軸とした地域づくりを積極的に展開していく。
- 社会的サービス等の行政・民間の横断的分野へ「新たな公」の取組を推進する。

新たな公による地域づくりの推進

公共空間管理
美化活動
まちづくり参画



住民

地域活性化に貢献する営利活動
社会貢献活動



企業

新たな公の活動領域



NPO



団体



行政

目的に応じた活動

様々な活動支援

多様な主体による地域づくりの推進

地域住民、NPO・ボランティア団体
自治組織、企業等

- ・創意と工夫に基づく取組の推進
- ・地域を主導する人材の育成・確保
- ・地域の資金が地域に再投資される「資金の小さな循環」の形成

持続可能な地域づくりの実現

戦略目標に沿った広域連携プロジェクト（概要）



1 東アジアへのフロントランナーとして 発展する九州圏の形成

- 1 九州圏の個性と魅力を創出する国際交流・協力の推進
- 2 東アジア（環黄海）経済圏の確立とアジア規模の知的拠点の形成
- 3 九州圏の持続的な成長を実現する成長型・牽引型産業群の形成
- 4 東アジアへの近接性等を活用したフード・観光アイランドの形成
- 5 新たな発展を実現する東アジア、広域ブロックとの交流・連携の推進
- 6 身近になる近畿圏等との観光・交流の推進

2 基幹都市圏を核とした多極型圏土構造と 九州圏の一体的な発展

- 1 多極型圏土構造の極となる個性的で魅力ある基幹都市圏の形成
- 2 文化・知識集約化による創造的都市の形成と多彩な人材の育成
- 3 九州圏の一体的な発展を実現する基幹都市連携軸の形成

3 災害・環境ハザード最前線における 安全・安心で美しい九州圏の形成

- 1 減災の視点も重視した災害に強い地域づくり
- 2 安全で安心な暮らしを支える広域セーフティネットワークの形成
- 3 美しく自然豊かな環境・景観に親しみ継承していく地域づくり
- 4 我が国を先導する環境負荷の少ない環境先進圏の形成
- 5 地球環境に優しく持続可能な省CO₂・エネルギー先進圏の形成

4 基幹・拠点都市圏と多自然居住地域の 交流による都市自然交流圏の形成

- 1 広域的な都市的利便性を実現する基幹・拠点都市圏の形成
- 2 水・緑・食・安全等の互恵関係を実現する都市自然交流軸の形成

5 生活中心都市を核とした安心でゆとりある 基礎生活圏の形成

- 1 生活支援機能の維持・向上を実現する基礎生活圏の形成
- 2 誰もが安心とゆとりを実感できる子育て・生活環境の形成
- 3 生活活動に密着した地域産業の新たな展開
- 4 生活・文化・活動等の一体化を促進する生活文化交流軸の形成

6 離島・半島、中山間地域等の 地理的制約を克服する豊かな定住環境の形成

- 1 地理的制約を克服する生活イノベーションの展開
- 2 離島地域における海洋性気候等に恵まれた豊かな定住環境の形成

7 九州圏の各地域の個性を活かした 先導的な地域づくり

- 1 恵まれた地域資源を活用した先導的で創造性あふれる地域づくり
- 2 多様な活動主体を基軸とした地域づくりと地域の担い手育成